

## 小林市の宝をみんなで探そう まちづくりシンポジウム

8月7日、文化会館でまちづくりシンポジウムが開催されました。基調講演では早稲田大学大学院公共経営研究科の北川正恭教授が「持続可能なまちづくりを～30年先の小林市を見据えて～」と題し登壇。北川教授は、葉っぱビジネスで成功した徳島県上勝町を例に「小林市にある宝を探し、磨くことを市民・議会・行政と一緒に考えるまちづくりを」と話しました。

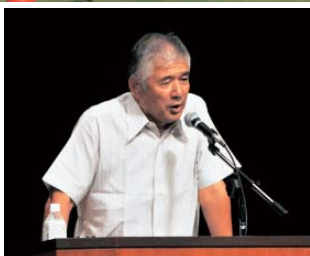
また、パネルディスカッションでは「市民との協働によるまちづくり」をテーマに意見交換。パネリストの山之口志朗さんが「協働のまちづくりには様々な団体の協力が不可欠」と話し、奥村詩帆さんは「行政は市民とNPOなどの団体との繋ぎ役であってほしい」と意見を述べました。また、肥後市長は「全てが一体となったまちづくりができるよう環境を作ることが市の仕事。市民が主役であることを意識して、行政としての仕事を進めたい」と話しました。



【写真左】ユーモアを交え講演した北川教授。【写真上】エントランスホールでは市民活動団体が活動をPR。【写真下】山之口志朗さん（協働のまちづくり推進委員会委員長）、奥村詩帆さん（市民活動団体まんぶく代表）、肥後市長がパネリストを務めたパネルディスカッション。



【写真上】初日のトレーニングの様子。【写真右】松橋中をハンドボールと駅伝の二競技で日本一に導いた平井元監督。【写真下】興譲館高校を2度の日本一に導くなど強豪に押し上げた森政監督。【写真右下】天満屋を日本一に導いたほかオリンピック選手を育てた武富豊監督。



## 明日の日本女子陸上界を担う トップアスリートが集結

8月9日から12日までの4日間、日本陸上競技連盟ジュニア女子長距離合宿が小林市と高原町で開催されました。合宿には全国から日本陸連推薦の24人を含む49校の選手やコーチなど約340人が参加。選手の競技力向上を図り、選手同士の交流を深めました。

また、文化会館では駅伝チームを日本一に導いた3人の監督が「日本一講演会」と題し登壇。熊本県の松橋中陸上部元監督の平井徳一さんは「当たり前が当たり前でできる人が強い選手になれる。指導者の大きな夢に選手は応えてほしい」と話しました。また、岡山県の興譲館高校陸上部の森政芳寿監督は「選手は自主性がないと伸びない。一つの成果に満足せず、達成感を持って次のステージを目指してほしい」と講演。天満屋陸上部の武富豊監督は「指導とは共に夢を語り合うこと。選手は指導者とよく話し、納得して練習してほしい」と語りました。

## 「尻合って はっけよい」女尻相撲大会が今年も大盛況 第27回のじり湖祭



7月30日、第27回のじり湖祭がのじりこぴあで開催されました。恒例の女尻相撲は、新しく設けた団体の部と、小学生・一般の部の3部門で実施。気迫あふれる取組が会場を沸かせました。▼女尻相撲大会優勝者

- 【団体の部】野尻中央病院（小林市野尻町）
- 【小学生の部】遠藤奈々さん（日向市財光寺）
- 【一般の部】園田さおりさん（小林市野尻町）



【写真上】ステージイベント。【写真左】太鼓の響きに合わせて打ち上げられた2千発の火花。

# 夏の小林を盛り上げた祭

のじり湖祭&こばやし名水夏まつり 2011

## 讚えよう水を！ こばやし名水夏まつり 2011

8月6日、まつり小林実行委員会主催の「こばやし名水夏まつり2011」がJR小林駅前広場などで開催されました。まつり名物の名水カーリングでは、参加者が微妙に力を加減しながら漬物石を投げ、その結果に一喜一憂。また、ロータリー広場では、やぐらを設置し、青年会議所によるJC太鼓が力強く演奏され、その周りで小林音頭などの踊りが祭りに華を添えました。



①まつり名物「名水カーリング」。②やぐらで力強い演奏をしたJC太鼓。③やぐらの周りでは艶やかな舞い。④投げ手との呼吸がこつの「キャッチ THE 水風船」。⑤華やかなステージイベントが観客を魅了。⑥「ヨーヨーつり」では色とりどりの水風船が。